第二種動物取扱業における飼養管理基準 (案)

青色文字:現行の検討箇所 緑色文字:基準案の改正箇所

水色マーカー:一種と二種の違い

黄色マーカー:改正の対象となる箇所

<前提>

現在の飼養管理基準省令(以下「基準省令」という。)において、第二種動物取扱業に関してのみ規定されている内容は、施行規則において第一種動物取扱業の登録要件等として規定されており、実質的には同様の規制がかけられている【水色マーカー太字】。

現行の基準省令上、第一種動物取扱業にのみに規定されており、営利性が認められない第二種動物取扱業においては緩和されている規制も存在する【*水色マーカー斜字*】。

そのほか、現行の基準省令上、業種等の違いを踏まえて第一種動物取扱業と第二種動物取扱業で書き分けている箇所がある【水色マーカー下線】。

<方向性>

上記を踏まえ、今回検討してきた第一種動物取扱業における基準改正箇所(下記に抜粋、<mark>黄色マーカー緑字</mark>)のうち、現行基準において第一種 と第二種で同様の基準が定められている箇所は、以下の通り第二種動物取扱業の基準についても同様に改正したいと考えている。(今回改正しな い基準及び第一種動物取扱業にのみ課されている基準は改正しない)

		【今回改正】	
		第一種では	第一種では
		<mark>改正する</mark> 基準	改正しない基準
【現行】	第一種と第二種で	第二種も改正する	第二種は改正しない
	同様の基準	(第一種と同様に)	
	第一種にのみ	第二種は改正しない	第二種は改正しない
	課されている基準		

※参考資料3「飼養管理基準省令における第一種動物取扱業と第二種動物取扱業の違い」も合わせてご覧ください。

■ ケージ等の安全な構造及び素材について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
1. 飼養施設の管理、飼養施設に備える	1. 飼養施設の管理、飼養施設に備える	1. 飼養施設の管理、飼養施設に備える	1. 飼養施設の管理、飼養施設に備える
設備の構造及び規模並びに当該設備の	設備の構造及び規模並びに当該設備の	設備の構造及び規模並びに当該設備の	設備の構造及び規模並びに当該設備の
管理に関する事項	管理に関する事項	管理に関する事項	管理に関する事項
(ニ) 運動スペース分離型飼養等を行	(i v)運動スペース分離型飼養等を	(二) 運動スペース分離型飼養等を行	(i v)運動スペース分離型飼養等を
う場合にあっては、運動スペース一体	行う場合にあっては、運動スペースー	う場合にあっては、運動スペース一体	行う場合にあっては、運動スペースー
型飼養等を行う場合におけるケージ等	体型飼養等を行う場合におけるケージ	型飼養等を行う場合におけるケージ等	体型飼養等を行う場合におけるケージ
以上の構造及び規模を有する分離型運	等以上の規模を有する分離型運動スペ	以上の構造及び規模を有する分離型運	等以上の <mark>構造及び</mark> 規模を有する分離型
動スペースを備えること。	ースを備えること。	動スペースを備えること。	運動スペースを備えること。
(4)ケージ等及び訓練場は、突起物、	(11)ケージ等及び訓練場は、突起	(4)ケージ等及び訓練場は、突起物、	(11)ケージ等及び訓練場は、突起
穴、くぼみ、斜面等によって、動物が傷	物、穴、くぼみ、斜面等によって、動物	穴、くぼみ、斜面等によって、動物が傷	物、穴、くぼみ、斜面等によって、動物
害等を受けるおそれがないような安全	が傷害等を受けるおそれがないような	害等を受けるおそれがないような安全	が傷害等を受けるおそれがないような
な構造及び材質とすること。また、犬又	安全な構造及び材質とすること。また、	な構造及び材質とすること。 <mark>飼養施設</mark>	安全な構造及び材質とすること。 <mark>飼養</mark>
は猫の飼養施設にあっては、ケージ等	犬又は猫の飼養施設にあっては、ケー	にあっては、錆、割れ、破れ等の破損が	施設にあっては、錆、割れ、破れ等の破
及び訓練場は、床材として金網が使用	ジ等及び訓練場は、床材として金網が	<mark>ないものとすること。</mark> また、犬又は猫の	損がないものとすること。 また、犬又は
されていないものとする(犬又は猫の	使用されていないものとする(犬又は	飼養施設にあっては、ケージ等及び訓	猫の飼養施設にあっては、ケージ等及
四肢の肉球が傷まないように管理され	猫の四肢の肉球が傷まないように管理	練場は、床材として金網が使用されて	び訓練場は、床材として金網が使用さ
ている場合を除く。) <mark>とともに、錆、割</mark>	されている場合を除く。) <mark>とともに、錆、</mark>	いないものとする(犬又は猫の四肢の	れていないものとする(犬又は猫の四
れ、破れ等の破損がないものとするこ	割れ、破れ等の破損がないものとする	肉球が傷まないように管理されている	肢の肉球が傷まないように管理されて
<mark>と</mark> 。	<u>こと</u> 。	場合を除く。)。	いる場合を除く。)。

■ 温度計・湿度計の設置、光環境の管理、夜行性に関する飼育環境について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
3. 動物の飼養又は保管をする環境の	3. 動物の飼養又は保管をする環境の	3. 動物の飼養又は保管をする環境の	3. 動物の飼養又は保管をする環境の
管理に関する事項	管理に関する事項	管理に関する事項	管理に関する事項
イ動物の生理、生態、習性等に適した温	イ動物の生理、生態、習性等に適した温	イ動物の生理、生態、習性等に適した温	イ動物の生理、生態、習性等に適した温
度、明るさ、換気、湿度等が確保され、	度、明るさ、換気、湿度等が確保され、	度、明るさ、換気、湿度等が確保され、	度、明るさ、換気、湿度等が確保され、
及び騒音が防止されるよう、飼養又は	及び騒音が防止されるよう、飼養環境	及び騒音が防止されるよう、飼養又は	及び騒音が防止されるよう、飼養環境
保管をする環境(以下「飼養環境」とい	の管理を行うこと。	保管をする環境(以下「飼養環境」とい	の管理を行うこと。
う。) の管理を行うこと。特に、販売業		う。) の管理を行うこと。 <i>特に、販売業</i>	
者が、夜間 (午後八時から翌日午前八時		者が、夜間(午後八時から翌日午前八時	
までの間をいう。以下同じ。)に大及び		までの間をいう。以下同じ。)に <mark>哺乳類</mark>	
猫以外の動物の展示を行う場合には、		以外の動物の展示を行う場合には、明	
明るさの抑制等の飼養環境の管理に配		るさの抑制等の飼養環境の管理に配慮	
慮すること。		すること。	
ロ <mark>犬又は猫</mark> の飼養又は保管を行う場合	ロ <mark>犬又は猫</mark> の飼養又は保管を行う場合	ロ <mark>哺乳類</mark> の飼養又は保管を行う場合に	ロ <mark>哺乳類</mark> の飼養又は保管を行う場合に
には、飼養施設に温度計及び湿度計を	には、飼養施設に温度計及び湿度計を	は、飼養施設に温度計及び湿度計を備	は、飼養施設に温度計及び湿度計を備
備え付けた上で、低温又は高温により	備え付けた上で、低温又は高温により	え付けた上で、低温又は高温により動	え付けた上で、低温又は高温により動
動物の健康に支障が生じるおそれがな	動物の健康に支障が生じるおそれがな	物の健康に支障が生じるおそれがない	物の健康に支障が生じるおそれがない
いよう、飼養環境の管理を行うととも	いよう、飼養環境の管理を行うととも	よう、飼養環境の管理を行うとともに、	よう、飼養環境の管理を行うとともに、
に、臭気により飼養環境又はその周辺	に、臭気により飼養環境又はその周辺	臭気により飼養環境又はその周辺の生	臭気により飼養環境又はその周辺の生
の生活環境を損なわないよう、飼養施	の生活環境を損なわないよう、飼養施	活環境を損なわないよう、飼養施設の	活環境を損なわないよう、飼養施設の
設の清潔を保つこと。	設の清潔を保つこと。	清潔を保つこと。	清潔を保つこと。
ハ <mark>大又は猫</mark> の飼養又は保管を行う場合	ハ <mark>大又は猫</mark> の飼養又は保管を行う場合	ハ <mark>哺乳類</mark> の飼養又は保管を行う場合に	ハ <mark>哺乳類</mark> の飼養又は保管を行う場合に
には、自然採光又は照明により、日長変	には、自然採光又は照明により、日長変	は、自然採光又は照明により、日長変化	は、自然採光又は照明により、日長変化
化(昼夜の長さの季節変化をいう。第三	化に応じて光環境を管理すること。	(昼夜の長さの季節変化をいう。第三	に応じて光環境を管理すること。
条第三号ハにおいて同じ。) に応じて光		条第三号ハにおいて同じ。) に応じて光	
環境を管理すること。		環境を管理すること。	

■ 状態悪化時の受診について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
4. 動物の疾病等に係る措置に関する	4. 動物の疾病等に係る措置に関する	4. 動物の疾病等に係る措置に関する	4. 動物の疾病等に係る措置に関する
事項	事項	事項	事項
へ動物が疾病にかかり、又は傷害を負	(5)動物が疾病にかかり、又は傷害を	へ動物が疾病にかかり、又は傷害を負	(5)動物が疾病にかかり、又は傷害を
った場合には、速やかに必要な処置を	負った場合には、速やかに必要な処置	った場合には、速やかに必要な処置を	負った場合には、速やかに必要な処置
行うとともに、 <mark>必要に応じて</mark> 獣医師に	を行うとともに、 <mark>必要に応じて</mark> 獣医師	行うとともに、 <mark>哺乳類の個体の状態が</mark>	を行うとともに、 <mark>哺乳類の個体の状態</mark>
よる診療を受けさせること。	による診療を受けさせること。	悪化した場合等は 獣医師による診療を	<mark>が悪化した場合等は</mark> 獣医師による診療
		受けさせること。 <mark>ただし、特別な事情が</mark>	を受けさせること。 <mark>ただし、特別な事情</mark>
		ある場合にあっては、この限りではな	がある場合にあっては、この限りでは
		<mark>√ `</mark>	ない。

■ 展示時間、展示を行わない時間について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
5. 動物の展示又は輸送の方法に関す	5. 動物の展示又は輸送の方法に関す	5. 動物の展示又は輸送の方法に関す	5. 動物の展示又は輸送の方法に関す
る事項	る事項	る事項	る事項
144 0 E - 11 V 12 E 18 E 1 E 7 E		1344 0 E = 11 VI - 41 IV - 1 = 7 I	
イ動物の展示は、次に掲げるところに		イ動物の展示は、次に掲げるところに	
より行うものとする。		より行うものとする。	
(1)販売業者、貸出業者及び展示業者		(1)販売業者、貸出業者及び展示業者	
にあっては、大又は猫の展示を行う場		にあっては、哺乳類の展示を行う場合	
合には、午前八時から午後八時までの		には、午前八時から午後八時までの間にないて行うこと。ただり、特定は無の	
間において行うこと。ただし、特定成猫		において行うこと。ただし、特定成猫の	
の展示を行う場合にあっては、午前八		展示を行う場合にあっては、午前八時	
時から午後十時までの間において行う		から午後十時までの間において行うこ	
ことを妨げない。この場合において、一		とを妨げない。この場合において、一日の性などがの見るは即く性なるがの見る	
日の特定成猫の展示時間(特定成猫の		の特定成猫の展示時間(特定成猫の展	
展示開始時刻及び展示終了時刻(複数		示開始時刻及び展示終了時刻(複数の	
の特定成猫の展示を行う場合にあって		特定成猫の展示を行う場合にあって	
は、それぞれの特定成猫の展示開始時		は、それぞれの特定成猫の展示開始時	
刻及び展示終了時刻)のうち最も早いながまるのは関すい		刻及び展示終了時刻)のうち最も早いは対するのは関すい	
時刻から最も遅い時刻までの時間をい		時刻から最も遅い時刻までの時間をい	
う。)は、十二時間を超えてはならない。	ノ尺山た1 マ屋二巻た佐る 老 にも マ	う。)は、十二時間を超えてはならない。	プロログレイロニックを入れる本にも、マ
(2) 販売業者及び展示業者にあって			
は、長時間連続して展示を行う場合には、長時間連続して展示を行う場合に			
は、動物のストレスを軽減するため、必要に応じてスの冷中にないて展示する。			
	要に応じてその途中において展示を行		
		わない時間を設けること。特に、長時間	
連続して大又は猫の展示を行う場合に		連続して哺乳類の展示を行う場合にあ	特に、長時間連続して <mark>哺乳類</mark> の展示を 行う場合にあっては、当該 <mark>哺乳類</mark> が休
あっては、当該大又は猫が休息できる			
設備に自由に移動できる状態を確保するものとし、その状態を確保すること	が休息できる設備に自由に移動できる		息できる設備に自由に移動できる状態
, , , , , , , ,	状態を確保するものとし、その状態を		を確保するものとし、その状態を確保
が困難な場合は、展示を行う時間が六時間を招きるでは、その冷中に展示			することが困難な場合は、展示を行う
時間を超えるごとに、その途中に展示		,	時間が六時間を超えるごとに、その途中に展示な行われい時間を記せる。
を行わない時間を設けること。	の途中に展示を行わない時間を設ける	わない時間を放けること。	中に展示を行わない時間を設けるよう
	よう努めること。		努めること。
			口動物の輸送は、次に掲げる方法により行うこと、他者に承託する場合にな
			り行うこと。他者に委託する場合にあ
			っても、次に掲げる方法により行われるようにすること。
			(1)輸送設備は、確実に固定すること
			等により衝撃による転倒を防止すること
			と。

■ 輸送後の目視観察について

現行 基準案 第一種動物取扱業者 第二種動物取扱業者 第一種動物取扱業者 第二種動物取扱業者 5. 動物の展示又は輸送の方法に関す 5. 動物の展示又は輸送の方法に関す 5. 動物の展示又は輸送の方法に関す る事項 る事項 る事項 る事項 ロ動物の輸送は、次に掲げる方法によ ロ動物の輸送は、次に掲げる方法によ ロ動物の輸送は、次に掲げる方法によ ロ動物の輸送は、次に掲げる方法によ り行うこと。他者に委託する場合にあ り行うこと。他者に委託する場合にあ り行うこと。他者に委託する場合にあ っても、次に掲げる方法により行われ っても、次に掲げる方法により行われ っても、次に掲げる方法により行われ るようにすること。 るようにすること。 るようにすること。 るようにすること。 (10) 販売業者及び貸出業者にあっ (10) 販売業者及び貸出業者にあっ (7) 譲渡業者及び貸出業者にあって ては、その飼養施設に輸送された大又 は、その飼養施設に輸送された大又は ては、その飼養施設に輸送された<mark>哺乳</mark> 類については、輸送後二日間以上その は猫については、輸送後二日間以上そ 猫については、輸送後二日間以上その の状態(下痢、おう吐、四肢の麻痺等外 状態(下痢、おう吐、四肢の麻痺等外形 状態(下痢、おう吐、四肢の麻痺等外形 形上明らかなものに限る。)を目視によ 上明らかなものに限る。)を目視によっ 上明らかなものに限る。)を目視によっ て観察すること。ただし、犬及び猫以外 って観察すること。 て観察すること。 の哺乳類を、飼養施設であって飼養又 は保管のために日常的に使用していな いもの(加において「外部施設」とい う。) に輸送した場合は、この限りでは ない。 (11)販売業者及び貸出業者にあっ ては、販売、販売のための展示又は貸出 を行う目的で、犬及び猫以外の哺乳類 を外部施設に輸送したときは、目的を 達成した後すみやかに、当該動物を、そ の飼養又は保管のために日常的に使用 している飼養施設に持ち帰らなければ ならない。 V

■ 繁殖について 現行 基準案 第一種動物取扱業者 第二種動物取扱業者 第一種動物取扱業者 第二種動物取扱業者 6. 動物を繁殖の用に供することがで 6. 動物を繁殖の用に供することがで 6. 動物を繁殖の用に供することがで 6. 動物を繁殖の用に供することがで きる回数、繁殖の用に供することがで きる回数、繁殖の用に供することがで きる回数、繁殖の用に供することがで きる回数、繁殖の用に供することがで きる動物の選定その他の動物の繁殖の きる動物の選定その他の動物の繁殖の きる動物の選定その他の動物の繁殖の きる動物の選定その他の動物の繁殖の 方法に関する事項 方法に関する事項 方法に関する事項 方法に関する事項 ト販売業者、貸出業者及び展示業者に ホ届出をして貸出業を行う者及び届出 ト販売業者、貸出業者及び展示業者に ホ届出をして貸出業を行う者及び届出 あっては、販売、貸出し又は展示の用に あっては、販売、貸出し又は展示の用に をして展示業を行う者にあっては、貸 <u>をして展示業を行う者</u>にあっては、貸

供するために<mark>犬又は猫</mark>を繁殖させる場 合には、必要に応じて獣医師等による 診療を受けさせ、又は助言を受けるこ

チ販売業者、貸出業者及び展示業者に あっては、<u>販売、</u>貸出し又は展示の用に 供するために<mark>犬又は猫</mark>を繁殖させる場 合であって、帝王切開を行う場合にあ っては、獣医師に行わせるとともに、出 生証明書並びに母体の状態及び今後の 繁殖の適否に関する診断書の交付を受 け、これらを五年間保存すること。

リ販売業者、貸出業者及び展示業者に あっては、販売、貸出し又は展示の用に 供するために<mark>犬又は猫</mark>を繁殖させる場 合には、第四号ハに規定する健康診断、 トに規定する帝王切開の診断その他の 診断の結果に従うとともに、繁殖に適 さない<mark>犬又は猫</mark>の繁殖をさせないこ

出し又は展示の用に供するために<mark>犬又</mark> は猫を繁殖させる場合には、必要に応 じて獣医師等による診療を受けさせ、 又は助言を受けること。

へ届出をして貸出業を行う者及び届出 をして展示業を行う者にあっては、貸 出し又は展示の用に供するために大又 <mark>は猫</mark>を繁殖させる場合であって、帝王 切開を行う場合にあっては、獣医師に 行わせるとともに、出生証明書並びに 母体の状態及び今後の繁殖の適否に関 する診断書の交付を受け、これらを五 年間保存すること。

ト届出をして貸出業を行う者及び届出 をして展示業を行う者にあっては、貸 出し又は展示の用に供するために<mark>大又</mark> は猫を繁殖させる場合には、第四号イ (3)に規定する健康診断、へに規定す る帝王切開の診断その他の診断の結果 に従うとともに、繁殖に適さない<mark>犬又</mark> <mark>は猫</mark>の繁殖をさせないこと。

供するために<mark>哺乳類</mark>を繁殖させる場合 には、必要に応じて獣医師等による診 療を受けさせ、又は助言を受けること。

チ販売業者、貸出業者及び展示業者に あっては、販売、貸出し又は展示の用に 供するために<mark>哺乳類</mark>を繁殖させる場合 であって、帝王切開を行う場合にあっ ては、獣医師に行わせるとともに、出生 証明書並びに母体の状態及び今後の繁 殖の適否に関する診断書の交付を受 け、これらを五年間保存すること。

リ販売業者、貸出業者及び展示業者に あっては、<u>販売、</u>貸出し又は展示の用に 供するために<mark>哺乳類</mark>を繁殖させる場合 には、第四号ハに規定する健康診断、ト に規定する帝王切開の診断その他の診 断の結果に従うとともに、繁殖に適さ ない<mark>哺乳類</mark>の繁殖をさせないこと。

5. 動物の展示又は輸送の方法に関す

り行うこと。他者に委託する場合にあ っても、次に掲げる方法により行われ

(7) 譲渡業者及び貸出業者にあって は、その飼養施設に輸送された<mark>哺乳類</mark> については、輸送後二日間以上その状 態(下痢、おう吐、四肢の麻痺等外形上 明らかなものに限る。) を目視によって 観察すること。ただし、大及び猫以外の 哺乳類を、飼養施設であって飼養又は 保管のために日常的に使用していない もの((8)において「外部施設」という。) に輸送した場合は、この限りではない。

(8) 譲渡業者及び貸出業者にあって は、譲渡、譲渡のための展示又は貸出を 行う目的で、犬及び猫以外の哺乳類を 外部施設に輸送したときは、目的を達 成した後すみやかに、当該動物を、飼養 又は保管のために日常的に使用してい る飼養施設に持ち帰らなければならな

出し又は展示の用に供するために<mark>哺乳</mark> <mark>類</mark>を繁殖させる場合には、必要に応じ て獣医師等による診療を受けさせ、又 は助言を受けること。

へ届出をして貸出業を行う者及び届出 <u>をして展示業を行う者</u>にあっては、貸 出し又は展示の用に供するために<mark>哺乳</mark> 類を繁殖させる場合であって、帝王切 開を行う場合にあっては、獣医師に行 わせるとともに、出生証明書並びに母 体の状態及び今後の繁殖の適否に関す る診断書の交付を受け、これらを五年 間保存すること。

ト届出をして貸出業を行う者及び届出 をして展示業を行う者にあっては、貸 出し又は展示の用に供するために<mark>哺乳</mark> 類を繁殖させる場合には、第四号イ (3)に規定する健康診断、へに規定す る帝王切開の診断その他の診断の結果 に従うとともに、繁殖に適さない<mark>哺乳</mark> <mark>類</mark>の繁殖をさせないこと。

■ 健康及び安全が損なわれるおそれのある状態について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養
に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項
イ <mark>犬又は猫</mark> を飼養又は保管する場合には、 <mark>犬又は猫</mark> を次のいずれかに該当する状態にしないこと。 (1)被毛にふん尿等が固着した状態 (2)体表が毛玉で覆われた状態 (3)爪が異常に伸びている状態	イ <mark>犬又は猫</mark> を飼養又は保管する場合には、 <mark>犬又は猫</mark> を次のいずれかに該当する状態にしないこと。 (1)被毛にふん尿等が固着した状態 (2)体表が毛玉で覆われた状態 (3)爪が異常に伸びている状態	イ <mark>哺乳類</mark> を飼養又は保管する場合には、 <mark>哺乳類</mark> を次のいずれかに該当する 状態にしないこと。 (1)被毛にふん尿等が固着した状態 (2)体表が毛玉で覆われた状態 (3)爪 <mark>、門歯、蹄</mark> が異常に伸びている	イ <mark>哺乳類</mark> を飼養又は保管する場合には、 <mark>哺乳類</mark> を次のいずれかに該当する 状態にしないこと。 (1)被毛にふん尿等が固着した状態 (2)体表が毛玉で覆われた状態 (3)爪 <mark>、門歯、蹄</mark> が異常に伸びている
(4) その他犬又は猫の適切な飼養又は保管が行われていないことにより健康及び安全が損なわれるおそれのある 状態	(4) その他犬又は猫の適切な飼養又は保管が行われていないことにより健康及び安全が損なわれるおそれのある状態	状態 (4) 自傷行為が見られる状態 (5) その他犬又は猫の適切な飼養又は保管が行われていないことにより健康及び安全が損なわれるおそれのある状態	状態 (4) 自傷行為が見られる状態 (5) その他犬又は猫の適切な飼養又は保管が行われていないことにより健康及び安全が損なわれるおそれのある状態

■ 複数・単独飼養について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養
に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項
ヲ異種又は複数の動物の飼養又は保管	へ異種又は複数の動物の飼養又は保管	ヲ <mark>同一のケージ等に入れる同種哺乳類</mark>	へ <mark>同一のケージ等に入れる同種哺乳類</mark>
をする場合には、ケージ等の構造若し	をする場合には、ケージ等の構造若し	<mark>の飼育頭数、及び</mark> 異種又は複数の動物	<mark>の飼育頭数、及び</mark> 異種又は複数の動物
くは配置又は同一のケージ等内に入れ	くは配置又は同一のケージ等内に入れ	の飼養又は保管をする場合には、ケー	の飼養又は保管をする場合には、ケー
る動物の組合せを考慮し、過度な動物	る動物の組合せを考慮し、過度な動物	ジ等の構造若しくは配置又は同一のケ	ジ等の構造若しくは配置又は同一のケ
間の闘争等が発生することを避けるこ	間の闘争等が発生することを避けるこ	ージ等内に入れる動物の組合せを考慮	ージ等内に入れる動物の組合せを考慮
と。	と。	し、 <mark>自傷行為や</mark> 過度な動物間の闘争等	し、 <mark>自傷行為や</mark> 過度な動物間の闘争等
		が発生することを避けること。	が発生することを避けること。

■ 給水の時間について

		基準 案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養
に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項
タ <mark>大又は猫</mark> を飼養又は保管する場合に	リ <mark>犬又は猫</mark> を飼養又は保管する場合に	タ <mark>哺乳類</mark> を飼養又は保管する場合にあ	リ <mark>哺乳類</mark> を飼養又は保管する場合にあ
あっては、清潔な給水を常時確保する	あっては、清潔な給水を常時確保する	っては、清潔な給水を常時確保するこ	っては、清潔な給水を常時確保するこ
こと。ただし、傷病動物の飼養若しくは	こと。ただし、傷病動物の飼養若しくは	と。ただし、傷病動物の飼養若しくは保	と。ただし、傷病動物の飼養若しくは保
保管をし、又は動物を一時的に保管す	保管をし、又は動物を一時的に保管す	管をし、又は動物を一時的に保管する	管をし、又は動物を一時的に保管する
る等特別な事情がある場合にあって	る等特別な事情がある場合にあって	等特別な事情がある場合にあっては、	等特別な事情がある場合にあっては、
は、この限りでない。	は、この限りでない。	この限りでない。	この限りでない。

■ 夜間営業について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養
に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項
ネ販売業者、貸出業者及び展示業者で		ネ販売業者、貸出業者及び展示業者で	
あって、夜間に営業を行う場合にあっ		あって、夜間に営業を行う場合にあっ	
では、当該時間内に顧客、見学者等が大		ては、当該時間内に顧客、見学者等が <mark>哺</mark>	
又は猫の飼養施設内に立ち入ること等		<mark>乳類</mark> の飼養施設内に立ち入ること等に	
により、 <mark>犬又は猫</mark> の休息が妨げられる		より、 <mark>哺乳類</mark> の休息が妨げられること	
ことがないようにすること。ただし、特		がないようにすること。ただし、特定成	
定成猫については、夜間のうち展示を		猫については、夜間のうち展示を行わ	
行わない間に顧客、見学者等が特定成		ない間に顧客、見学者等が特定成猫の	
猫の飼養施設内に立ち入ること等によ		飼養施設内に立ち入ること等により、	
り、特定成猫の休息が妨げられること		特定成猫の休息が妨げられることがな	
がないようにすること。		いようにすること。	

■ 訓練方法について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養
に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項
ナ展示業者及び訓練業者にあっては、	ワ届出をして展示業を行う者及び届出	ナ展示業者及び訓練業者にあっては、	ワ <u>届出をして展示業を行う者及び届出</u>
動物に演芸をさせ、又は訓練をする等	<u>をして訓練業を行う者</u> にあっては、動	動物に演芸をさせ、又は訓練をする等	<u>をして訓練業を行う者</u> にあっては、動
の場合には、動物の生理、生態、習性等	物に演芸をさせ、又は訓練をする等の	の場合には、動物の生理、生態、習性等	物に演芸をさせ、又は訓練をする等の
に配慮し、演芸、訓練等が過酷なものと	場合には、動物の生理、生態、習性等に	に配慮し、演芸、訓練等が過酷なものと	場合には、動物の生理、生態、習性等に
ならないようにすること。	配慮し、演芸、訓練等が過酷なものとな	ならないようにすること。 <mark>また、殴る、</mark>	配慮し、演芸、訓練等が過酷なものとな
	らないようにすること。	蹴る等の身体に外傷が生じる又は生じ	らないようにすること。 <mark>また、殴る、蹴</mark>
		る恐れのある行為、暴力を加える行為、	る等の身体に外傷が生じる又は生じる
		心理的抑圧・恐怖を与える行為、過度に	恐れのある行為、暴力を加える行為、心
		餌を減らす行為等を行わないこと。	理的抑圧・恐怖を与える行為、過度に餌
			を減らす行為等を行わないこと。

■ 接触・譲り渡しの時間帯について

現行		基準案	
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者
7. その他動物の愛護及び適正な飼養に関し必要な事項	7. その他動物の愛護及び適正な飼養に関し必要な事項	7. その他動物の愛護及び適正な飼養に関し必要な事項	7. その他動物の愛護及び適正な飼養に関し必要な事項
ノ動物を顧客、取引の場所を提供する		ノ動物を顧客、取引の場所を提供する	
者その他の関係者(以下「顧客等」とい		者その他の関係者(以下「顧客等」とい	
う。)と接触させ、又は顧客等に譲り渡		う。) と接触させ、又は顧客等に譲り渡	
し、若しくは引き渡す場合にあっては、		し、若しくは引き渡す場合にあっては、	
次に掲げる方法により行うこと。		次に掲げる方法により行うこと。	
(1)販売業者、貸出業者及び展示業者		(1)販売業者、貸出業者及び展示業者	
にあっては、夜間に <mark>大又は猫</mark> を顧客と		にあっては、夜間に <mark>哺乳類</mark> を顧客と接	
接触させ、又は顧客に譲り渡し、若しく		触させ、又は顧客に譲り渡し、若しくは	
は引き渡さないようにすること。ただ		引き渡さないようにすること。ただし、	
し、特定成猫については、夜間のうち展		特定成猫については、夜間のうち展示	
示を行わない間に特定成猫を顧客と接		を行わない間に特定成猫を顧客と接触	
触させ、又は顧客に譲り渡し、若しくは		させ、又は顧客に譲り渡し、若しくは引	
引き渡さないようにすること。		き渡さないようにすること。	

■ 動物への接触方法について

動物への接触方法について 				
現行		基準案		
第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	第一種動物取扱業者	第二種動物取扱業者	
7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	7. その他動物の愛護及び適正な飼養	
に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項	に関し必要な事項	
(2) 販売業者、貸出業者及び展示業者	ソ届出をして貸出業を行う者及び届出	(2) 販売業者、貸出業者及び展示業者	ソ届出をして貸出業を行う者及び届出	
にあっては、 <u>顧客</u> 等が動物に接触する	<u>をして展示業を行う者</u> にあっては、 <u>見</u>	にあっては、 <u>顧客</u> 等が動物に接触する	<u>をして展示業を行う者</u> にあっては、 <u>見</u>	
場合には、動物に過度なストレスがか	物客等が動物に接触する場合には、 <mark>動</mark>	場合には、 <mark>触れ合い時に</mark> 販売、 <mark>貸出及び</mark>	<u>物客</u> 等が動物に接触する場合には、 <mark>触</mark>	
かり、顧客等が危害を受け、又は動物若	物に過度なストレスがかかり、 <u>見物客</u>	展示に従事する職員は、同時に触れ合	れ合い時に貸出及び展示を行う者は、	
しくは <u>顧客</u> 等が人と動物の共通感染症	等が危害を受け、又は動物若しくは <u>見</u>	いに用いられる動物の数、同時に触れ	同時に触れ合いに用いられる動物の	
にかかることのないよう、 <u>顧客</u> 等に対	物客等が人と動物の共通感染症にかか	合いに参加する顧客の数、触れ合いス	数、同時に触れ合いに参加する見物客	
して動物への接触方法について指導す	ることのないよう、 <u>見物客</u> 等に対して	ペースの広さ等に勘案し、 <u>顧客</u> による	の数、触れ合いスペースの広さ等に勘	
るとともに、動物に適度な休息を与え	動物への接触方法について指導すると	不適切な触れ合いが生じた場合に直ち	案し、 <u>見物客</u> による不適切な触れ合い	
ること。	ともに、動物に適度な休息を与えるこ	に対応するために必要な人数を確保す	が生じた場合に直ちに対応するために	
	と。	ること。また、 <u>顧客</u> 等が動物に接触する	必要な人数を確保すること。また、見物	
		場合には、動物に適度な休息を与え、極	客等が動物に接触する場合には、動物	
		めて短時間の接触を除き、動物が顧客	に適度な休息を与え、極めて短時間の	
		から逃げることができる場所を常時確	接触を除き、動物が見物客から逃げる	
		保するとともに、事前に動物への触れ	ことができる場所を常時確保するとと	
		合い方法について指導し、顧客の理解	もに、事前に動物への触れ合い方法に	
		を文書又は口頭で確認すること。また	ついて指導し、 <u>見物客</u> の理解を文書又	
		過度に幼齢な動物、顧客との触れ合い	は口頭で確認すること。また過度に幼	
		により過度なストレスを受ける個体、	齢な動物、見物客との触れ合いにより	
		人畜共通感染症に感染している個体を	過度なストレスを受ける個体、人畜共	
		用いないこと。また動物と接触した顧	通感染症に感染している個体を用いな	
		客等に、接触の前後に手指等を消毒さ	いこと。また動物と接触した <u>見物客</u> 等	
		せること。	に、接触の前後に手指等を消毒させる	
			こと。	